

株式会社河野メリクロン（徳島県）

～ ランに出会い魅了され、全てを打ち込んで40余年 ～

1. 洋蘭（シンビジウム）の世界最高峰の育種技術

「ランに出会い魅了され、この花に全てを打ち込んで40余年の歳月が流れました。」株式会社河野メリクロンのホームページに掲載されている河野社長のご挨拶の冒頭の言葉である。同社は、洋蘭の研究一筋で、品種登録制度に出願した品種数は累計で526品種に及んでいる。昨年11月からタイで開催された国際園芸博覧会ロイヤル・フローラ・ラーチャプルック2006で13回行われた蘭のコンテストで金賞1席8品種をはじめ、合計23品種で受賞するなど、同社は世界最高峰の育種技術を有している。

また、洋蘭の持つ生命力に着目し、発毛・育毛剤やワイン・茶などの分野にも進出し特許を取得している。

2. 洋蘭の総合産業化を目指す

洋蘭は、大変強靱な生命力を持っている。シンビジウムの根元の肥大した茎は「バルブ」と呼ばれるが、根と葉を切り離して一滴の水を与えなくとも芽を出し、生長する。また、シンビジウムは、適当な環境では100日以上も花を咲かせ続けることも多い。

同社は、シンビジウムの持つ強靱な生命力に着目し、この生命力を利用した多くの製品を開発している。バルブの成分を抽出し利用した育毛・発毛剤やらん入りワインで特許を取得している。シンビジウムの葉から製造するシンビジウム茶及びその製法特許も取得した。さらに、シンビジウム・エキス入りのシャンプーやコンディショナーなど様々な製品が開発・販売されている。同社では、「あんみつ館」というショールーム・ショップを開設し、ネット等を利用した通信販売を展開している。

河野社長は、花の可能性を追求し、洋蘭についてあらゆることを手がけ、洋蘭の総合産業化を目指したいとしている。

3. 育種メーカーならではの知財戦略 特許権と育成者権

同社は、洋蘭の育種メーカーである。なぜ育種メーカーに特許があるのか。これまで紹介してきたように、同社は、洋蘭という花の可能性を追求し、あらゆることを手がけたいとしている。蘭の花を原材料に様々な工業製品を開発している。

また、新製品の特許が取れなくても、洋蘭の品種登録によって原材料は自社で独占栽培ができるという点ではむしろ、他のメーカーよりも有利である。

洋蘭を利用した今までになかった製品に関する特許、この製品に使用する商標権、そして原材料となる洋蘭のオリジナル品種の品種登録による育成者権、同社の製品の周りには、知的財産権の網がスッポリと被っているのである。まさに、同社でしか作ることができない製品が、展開されている。

【保有権利に基づく製品例】



【品種登録第2841号】シンビジウム「グレートフラワー・マリーローランサン」各製品の原材料



【特許第3612550号】らん入り赤ワイン「らの精」



【特許第3513475号】発毛・育毛剤「蘭夢RANMU」



【特許第3358855号】シンビジウム茶「蘭夢RANMU」

<使用されている登録商標>
【商標登録第4316706号】らんむ / 蘭夢 第33類
【商標登録第4534209号】らんむ / 蘭夢 第3類、第5類
【商標登録第5021578号】蘭夢(標準文字) 第30類、第31類

<会社概要>

名称及び代表者名	株式会社河野メリクロン 代表取締役 河野 通郎
本社所在地	徳島県美馬市脇町大字北庄562番地の1
創業	1977（昭和52）年
資本金	2,100万円
従業員数	120名（グループ合計）
主要製品	洋ラン（シンビジウム）の品種改良とメリクロンの生産販売及び関連事業
電話	0883-52-2189 （代表）
URL	http://www.kawano-mericlone.com/